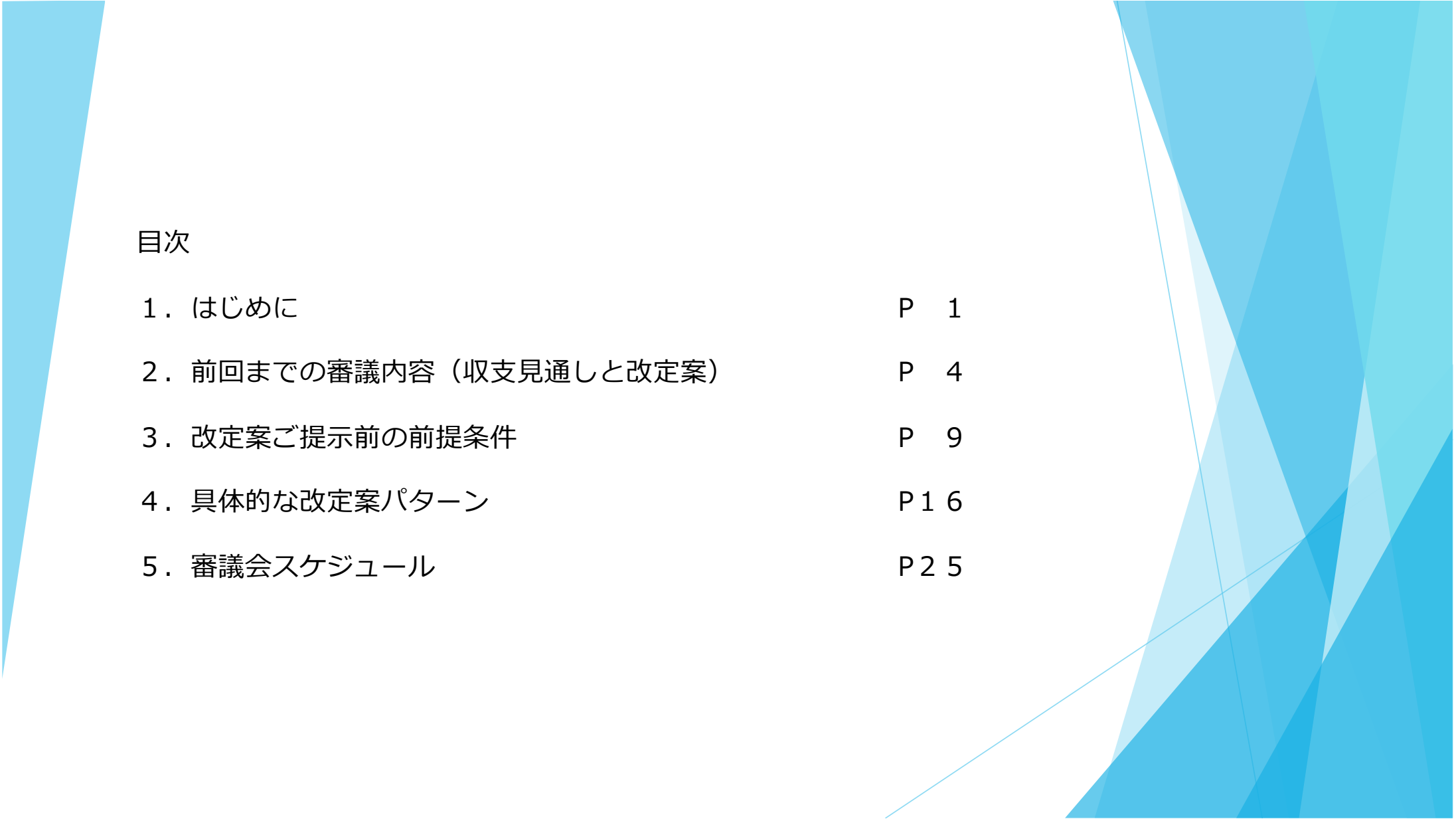


The background features abstract blue geometric shapes. On the left, a solid blue triangle points upwards. On the right, a complex arrangement of overlapping translucent blue triangles and polygons creates a dynamic, layered effect. The main text is centered in a clean, blue, sans-serif font.

つくばみらい市 下水道使用料検討資料 (第5回)

令和6年9月24日(火) 13時30分

場所 谷和原庁舎2F 第1・第2会議室

The page features abstract blue geometric shapes in the background. On the left, a solid blue triangle points downwards. On the right, a complex arrangement of overlapping translucent blue triangles and polygons creates a dynamic, layered effect.

目次

1. はじめに	P 1
2. 前回までの審議内容（収支見通しと改定案）	P 4
3. 改定案ご提示前の前提条件	P 9
4. 具体的な改定案パターン	P 16
5. 審議会スケジュール	P 25

1. はじめに

第1回 審議会



- ① 諮問
- ② つくばみらい市における
下水道事業・工事状況

第2回 審議会



- ① つくばみらい市における現状の分析
- ② 経営比較分析表を基にした近隣団体の状況説明
- ③ 使用料改定諮問の背景

第3回 審議会



- ① 経営戦略による今後10年間の見通し
- ② 経営戦略を基にした使用料改定案

第4回 審議会



- ①会計の全体像
- ②具体的な改定に必要な情報と検討案のご提示

第5回 審議会



- ★具体的な改定案
- ①ボリュームゾーン及び、複数パターンのご提示
- ②改定パターンの決定

2. 前回までの審議内容 (収支見通しと改定案)

収支見通し

※金額については全て税抜

公共下水道＋農業集落排水	R4 (決算)	R5 (予算)	R6 (予算)	R7	R8	R9	R10	R11	R12
年間有収水量 (m³)	3,066,736	3,081,314	3,087,501	3,095,475	3,265,814	3,434,416	3,476,495	3,631,013	3,755,500
使用料試算 (万円)	41,402	42,270	42,250	41,751	44,611	47,447	48,127	50,741	52,839
污水处理費 (万円)	52,219	59,771	67,208	66,219	65,736	66,173	65,933	67,458	68,440
使用料不足額 (万円)	10,817	17,502	24,958	24,468	21,126	18,727	17,806	16,716	15,601
経費回収率 (%)	79.29%	70.72%	62.86%	63.05%	67.86%	71.70%	72.99%	75.22%	77.21%

公共下水道	R4 (決算)	R5 (予算)	R6 (予算)	R7	R8	R9	R10	R11	R12
年間有収水量 (m³)	2,650,159	2,665,599	2,680,191	2,689,135	2,861,413	3,031,954	3,075,600	3,231,088	3,357,506
使用料試算 (万円)	35,817	36,696	36,789	36,303	39,189	42,051	42,752	45,380	47,503
污水处理費 (万円)	39,752	43,884	50,801	49,732	49,212	52,800	52,261	53,605	54,892
使用料不足額 (万円)	3,935	7,188	14,012	13,429	10,023	10,749	9,509	8,226	7,389
経費回収率 (%)	90.10%	83.62%	72.42%	73.00%	79.63%	79.64%	81.80%	84.66%	86.54%

農業集落排水	R4 (決算)	R5 (予算)	R6 (予算)	R7	R8	R9	R10	R11	R12
年間有収水量 (m³)	416,577	415,716	407,310	406,340	404,401	402,461	400,895	399,925	397,994
使用料試算 (万円)	5,585	5,574	5,461	5,448	5,422	5,396	5,375	5,362	5,336
污水处理費 (万円)	12,466	15,887	16,407	16,487	16,524	13,374	13,672	13,853	13,548
使用料不足額 (万円)	6,881	10,313	10,946	11,039	11,103	7,978	8,297	8,491	8,212
経費回収率 (%)	44.80%	35.08%	33.28%	33.04%	32.81%	40.35%	39.31%	38.71%	39.39%

<参考> 基礎情報・予測	R4 (決算)	R5 (予算)	R6 (予算)	R7	R8	R9	R10	R11	R12
行政人口予測 (人)	53,177	53,693	54,209	54,670	54,693	54,716	54,739	54,762	54,785
処理区域内人口予測 (人)	33,412	33,543	33,652	33,739	33,805	33,860	33,905	33,939	33,973
水洗化人口予測 (人)	32,433	32,588	32,657	32,742	32,835	32,907	33,013	33,046	33,098

改定案A～Cについて

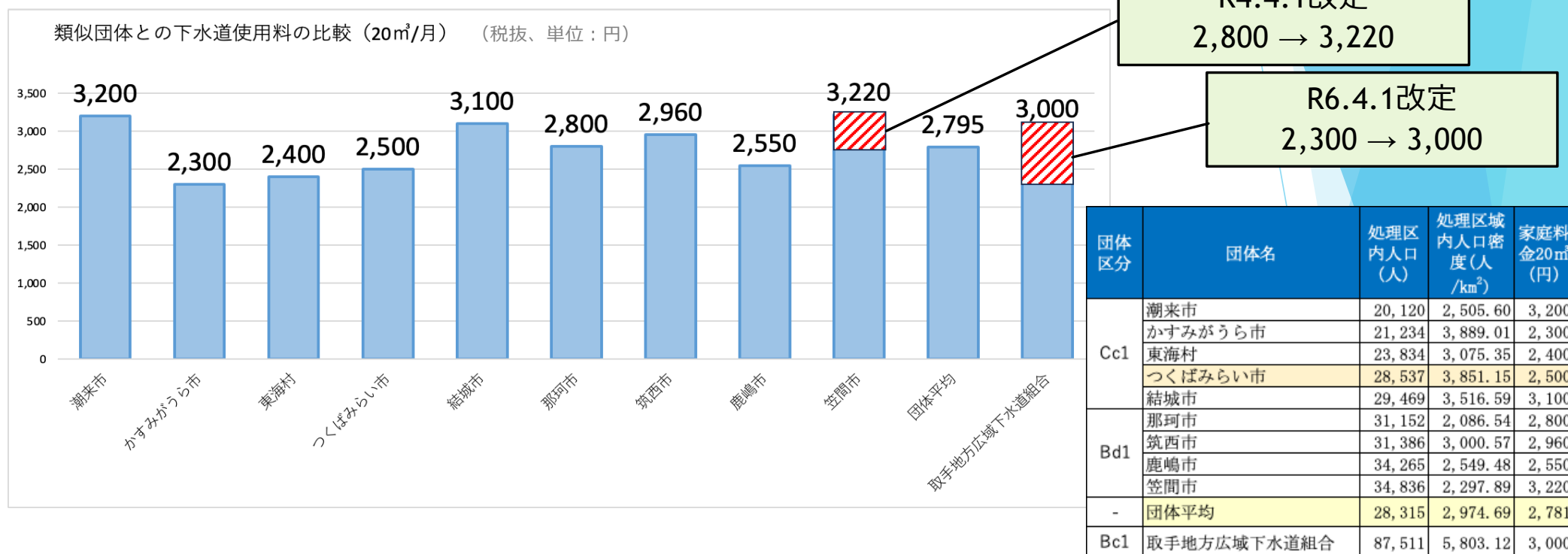
※金額については全て税抜

公共下水道＋農業集落排水	R4（決算）	R5（予算）	R6（予算）	R7	R8	R9	R10	R11	R12
年間有収水量（m ³ ）	3,066,736	3,081,314	3,087,501	3,095,475	3,265,814	3,434,416	3,476,495	3,631,013	3,755,500
使用料試算（万円）	41,402	42,270	42,250	41,751	44,611	47,447	48,127	50,741	52,839
污水处理費（万円）	52,219	59,771	67,208	66,219	65,736	66,173	65,933	67,458	68,440
使用料不足額（万円）	10,817	17,502	24,958	24,468	21,126	18,727	17,806	16,716	15,601
経費回収率（％）	79.29%	70.72%	62.86%	63.05%	67.86%	71.70%	72.99%	75.22%	77.21%



類似団体との下水道使用料比較

類似団体区分（総務省）を基に、処理区域内人口が当市と近い団体と使用料を比較しました。



類似団体区分とは？

各地方公共団体が人口規模の類似する他の団体と比較するための区分です。
つくばみらい市は現在「Cc1」に該当していますが、処理区域内人口区分内では上位に位置しているため、次の区分である「Bd1」の下位自治体についても比較対象としました。

処理区域人口区分	処理区域内人口密度区分	供用開始後年数別区分	類型区分
3万以上	50人/ha以上	30年以上	Bc1
3万未満	50人/ha以上		Bd1
			Cc1

類似団体との使用料体系の比較/月

※金額については全て税抜（単位：円）

類似団体比較	つくばみらい市	潮来市	かすみがうら市	東海村	結城市	那珂市	筑西市	鹿嶋市	笠間市	団体平均	取手地方広域下水道組合
基本使用料	500	1,600	1,100	2,400	1,500	2,800	1,360	1,200	3,220	1,742	500
1～10㎡	70									70	110
11～20㎡	130	160	120		160		160	135		144	140
21～30㎡	140	160	130	130	170	140	180	145	161	151	160
31～40㎡	150	160	140	130	180	140	190	145	161	155	170
41～50㎡	150	160	140	130	180	150	190	145	172	157	170
51～60㎡	160	180	150	130	190	150	200	155	172	165	180
61～100㎡	160	180	150	140	190	160	200	155	184	169	180
101～200㎡	170	200	160	150	200	170	220	170	184	180	190
201～500㎡	170	200	160	160	200	180	220	170	195	184	200
501～1,000㎡	170	220	170	160	200	180	220	170	195	187	200
1,001㎡～	170	220	180	160	200	180	220	170	195	188	200
処理場の種類	単独公共	流域関連	単独公共 流域関連	流域関連	単独公共	流域関連	単独公共 流域関連	単独公共	単独公共		単独公共
10㎡使用時	1,200	1,600	1,100	2,400	1,500	2,800	1,360	1,200	3,220	1,820	1,600
20㎡使用時	2,500	3,200	2,300	2,400	3,100	2,800	2,960	2,550	3,220	2,781	3,000
30㎡使用時	3,900	4,800	3,600	3,700	4,800	4,200	4,760	4,000	4,830	4,288	4,600
50㎡使用時	6,900	8,000	6,400	6,300	8,400	7,100	8,560	6,900	8,160	7,413	8,000
100㎡使用時	14,900	17,000	13,900	13,200	17,900	15,000	18,560	14,650	17,240	15,817	17,000
500㎡使用時	82,900	97,000	77,900	76,200	97,900	86,000	106,560	82,650	94,140	89,028	96,000
1,000㎡使用時	167,900	207,000	162,900	156,200	197,900	176,000	216,560	167,650	191,640	182,639	196,000
10,000㎡使用時	1,697,900	2,187,000	1,782,900	1,596,200	1,997,900	1,796,000	2,196,560	1,697,650	1,946,640	1,877,639	1,996,000

※東海村・那珂市・笠間市については、基本使用料2か月分

3. 改定案ご提示前の前提条件

下水道使用料体系の検討

《使用料体系の概要》

下水道使用料体系は、各団体の条例で定められ、その体系は団体により異なる。

つくばみらい市では二部料金制で、従量使用料は逦増（ていぞう）型を採用している。

構成	区分①	区分②	負担の考え方
一部料金制	定額使用料又は 従量使用料		排水量に多寡にかかわらず定額を負担又は排水量に応じた負担
二部料金制	基本使用料		排水量の多寡に関わらず定額を負担
	従量使用料	逦増型	排水量に応じて1 m ³ あたりの単価を乗じた額を負担排水量に応じ単価が高くなる制度
		逦減型	排水量に応じて1 m ³ あたりの単価を乗じた額を負担排水量に応じ単価が低くなる制度
		単一	排水量に応じ1 m ³ あたりの単価を乗じた額を負担

下水道使用料体系の検討

使用料体系の設定

①

使用料対象経費の分解

使用料体系（基本使用料と従量使用料）の現状と特徴

・現在の基本使用料と従量使用料



(令和4年度実績)

・使用料体系の特徴

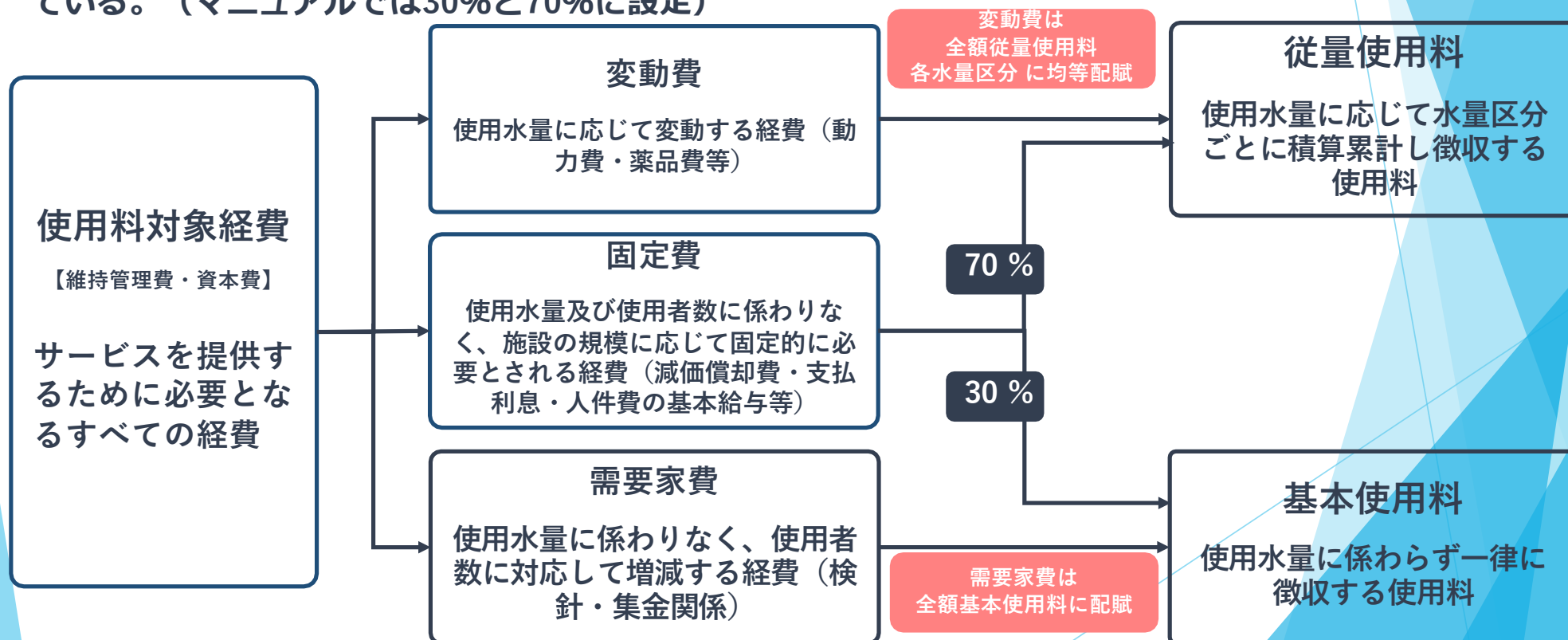
構成	体系の特徴
【二部料金制】 基本使用料 ＋ 従量使用料	〔基本使用料の特徴〕 ・人口の増減の影響が少ない→経営安定化に優れている ・排水量の増減の影響が少ない→少量使用者は負担感高い 〔従量使用料(逓増制)の特徴〕 ・排水量に応じた負担→使用者負担の公平性が図れる ・人口増減による影響が出やすい→経営の不安定さがある ・逓増制は政策的要素を含む→大口利用者の負担大

下水道使用料体系の検討

使用料体系の設定

① 使用料対象経費の分解

マニュアル「下水道使用料算定の基本的考え方（2016年度版）」では、使用料対象経費を下表のように分解し、それぞれの性質に応じて基本使用料及び従量使用料に配賦するよう示している。下水道事業は**固定費が高く**、これをそのまま**基本使用料にすると非常に高額になる**ので、**一部を従量使用料で賄う**ように設計されている。（マニュアルでは30%と70%に設定）



下水道使用料体系の検討

使用料体系の設定

使用料対象経費の分解

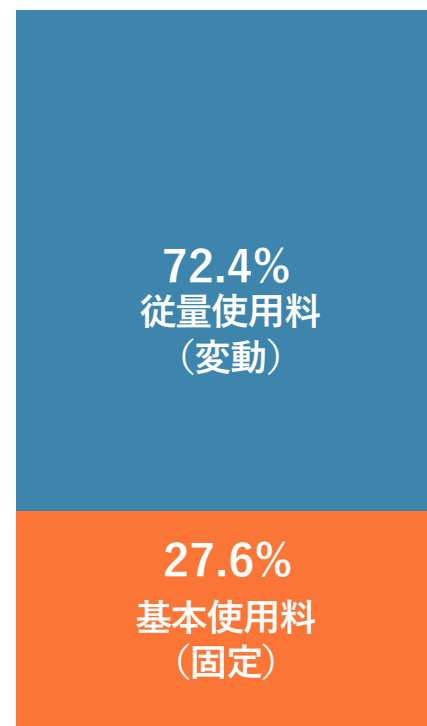
現状の基本使用料と従量使用料



前項のとおり
マニュアルに従った
費用の整理を行うと



使用料対象経費の分解後の原価内訳 (総括原価)



変動費

- ・ 動力費、薬品費
- ・ 施設の維持管理費

70%

固定費

- ・ 減価償却費・支払利息
- ・ 人件費の基本給与等

30%

需要家費

- ・ 使用料徴収業務費用等

改めて、令和4年度の決算値を分解すると、右図の結果になる。
現状の基本使用料と従量使用料の割合は、基本使用料が不足していることが分かる。

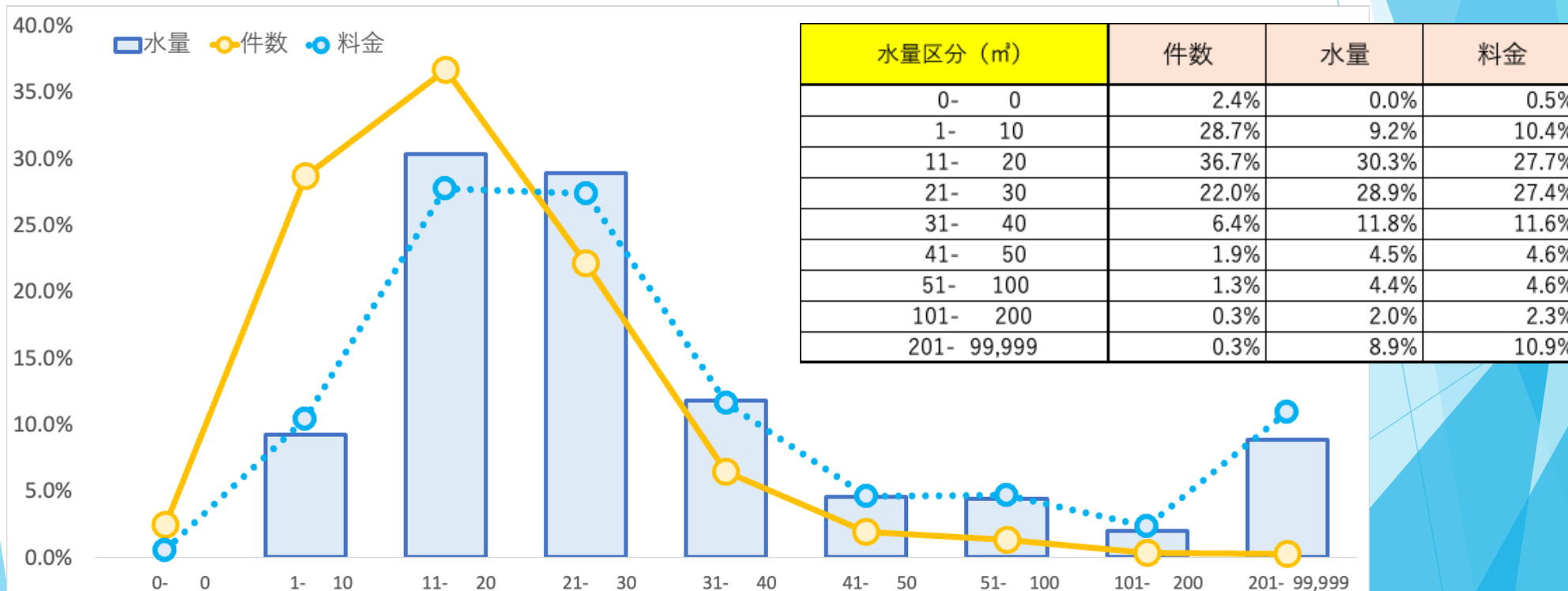
下水道使用料体系の検討

使用料体系の設定

②

使用者群の区分

・全体使用者群の割合・調定データ（令和5年度）



下水道使用料体系の検討

使用料体系の設定

③ 使用料対象経費の配賦

④ 使用料体系の設定

- ・ 使用料改定の検討パターンの前提条件について

	前提条件
①	1か月あたり20m ³ 使用した場合の使用料を2,500円から3,000円に改定する。 (今後の経営の安定化のために必要な最低限の上げ幅)
②	全使用者の負担が公平になるように設定する。
③	基本使用料と従量使用料の改定に伴う違いを比較、検証し最適なパターンを示す。
④	公共下水道において令和12年度の使用料不足を解消する。 (経費回収率100%を目指す)

4. 具体的な改定案パターン

下水道使用料の改定検証

前回は各水量区分の状況を加味せず、平均的な使用量単価の引き上げ案を明示しました。

今回はさらに詳細、且つ多角的な検証が必要なため以下の改定パターンを提示します。

パターン① 基本使用料のみ引き上げます（基盤は安定するが低量使用者にとっては大幅な金額上昇）

パターン② 基本使用料を上げず低量使用者を重点的に引き上げます（基本使用料の代替案）

パターン③ 基本使用料を上げず全体のバランスを見て引き上げます（基本使用料の代替案）

パターン④ 全体の底上げに繋がる基本使用料の改定を行い、他の料金帯を均等に引き上げます

水量区分 (㎡)	現行 (円)	①		②		③		④	
		基本使用料UP (円)		従量使用料UP (円)		従量使用料UP (円)		基本+従量UP (円)	
		基本使用料のみ		基本使用料代替案A		基本使用料代替案B		一律 10円	
		値上げ幅	改定後使用料	値上げ幅	改定後使用料	値上げ幅	改定後使用料	値上げ幅	改定後使用料
0- 0	500	500	1,000		500		500	300	800
1- 10	70		70	40	110	30	100	10	80
11- 20	130		130	10	140	20	150	10	140
21- 30	140		140	20	160	20	160	10	150
31- 40	150		150	20	170	20	170	10	160
41- 50	150		150	20	170	20	170	10	160
51- 100	160		160	20	180	20	180	10	170
101- 200	170		170	20	190	20	190	10	180
201- 99,999	170		170	20	190	20	190	10	180
20㎡使用時	2,500	3,000		3,000		3,000		3,000	

改定検証に伴う改定案

使用料改定の影響

パターン①

改定後は各世帯で1か月あたり下記の負担増と見込まれます

水量区分 (m³)	現行 (円)	基本使用料UP (円)	水量区分 (m³)	目安人数	割合 (使用料)	基本使用料UP (円)
0- 0	500	500	0- 0	基本	0.5%	500
1- 10	70		1- 10	1~2人	10.4%	500
11- 20	130		11- 20	2~3人	27.7%	500
21- 30	140		21- 30	3~4人	27.4%	500
31- 40	150		31- 40	4~5人	11.6%	500
41- 50	150		41- 50	5~6人	4.6%	500
51- 100	160		51- 100	6~7人・法人	4.6%	500
101- 200	170		101- 200	法人	2.3%	500
201- 99,999	170		201- 99,999	法人	10.9%	500

例：1か月の下水道使用料が3,900円だった方
 (旧使用料金帯で30m³利用)
 1か月の下水道使用料が4,400円

基本使用料のみ引き上げます

(基盤は安定するが低量使用者にとっては大幅な金額上昇)

改定検証に伴う改定案

使用料改定の影響

パターン②

改定後は各世帯で1か月あたり下記の負担増と見込まれます

水量区分 (m³)	現行 (円)	従量使用料UP (円)
		基本使用料代替案A
0- 0	500	
1- 10	70	40
11- 20	130	10
21- 30	140	20
31- 40	150	20
41- 50	150	20
51- 100	160	20
101- 200	170	20
201- 99,999	170	20

水量区分 (m³)	目安人数	割合 (使用料)	従量使用料UP (円)
0- 0	基本	0.5%	0
1- 10	1~2人	10.4%	40~400
11- 20	2~3人	27.7%	410~500
21- 30	3~4人	27.4%	520~700
31- 40	4~5人	11.6%	720~900
41- 50	5~6人	4.6%	920~1100
51- 100	6~7人・法人	4.6%	1120~2100
101- 200	法人	2.3%	2120~4100
201- 99,999	法人	10.9%	4120~

例：1か月の下水道使用料が3,900円だった方
 (旧使用料金帯で30m³利用)
 1か月の下水道使用料が4,600円

基本使用料を上げず低量使用者を重点的に引き上げます
(基本使用料の代替案)

改定検証に伴う改定案

使用料改定の影響

パターン③

改定後は各世帯で1か月あたり下記の負担増となることを見込まれます

水量区分 (m³)	現行 (円)	従量使用料UP (円)	水量区分 (m³)	目安人数	割合 (使用料)	従量使用料UP (円)
		基本使用料代替案B				基本使用料代替案B
0- 0	500		0- 0	基本	0.5%	0
1- 10	70	30	1- 10	1~2人	10.4%	30~300
11- 20	130	20	11- 20	2~3人	27.7%	320~500
21- 30	140	20	21- 30	3~4人	27.4%	520~700
31- 40	150	20	31- 40	4~5人	11.6%	720~900
41- 50	150	20	41- 50	5~6人	4.6%	920~1100
51- 100	160	20	51- 100	6~7人・法人	4.6%	1120~2100
101- 200	170	20	101- 200	法人	2.3%	2120~4100
201- 99,999	170	20	201- 99,999	法人	10.9%	4120~

例：1か月の下水道使用料が3,900円だった方
 (旧使用料金帯で30m³利用)
 1か月の下水道使用料が4,600円

**基本使用料を上げず全体のバランスを見て引き上げます
 (基本使用料の代替案)**

改定検証に伴う改定案

使用料改定の影響

パターン④

改定後は各世帯で1か月あたり下記の負担増となることが見込まれます

水量区分 (m³)	現行 (円)	基本+従量 (円)	水量区分 (m³)	目安人数	割合 (使用料)	基本+従量 (円)
		一律 10円				一律 10円
0- 0	500	300	0- 0	基本	0.5%	300
1- 10	70	10	1- 10	1~2人	10.4%	310~400
11- 20	130	10	11- 20	2~3人	27.7%	410~500
21- 30	140	10	21- 30	3~4人	27.4%	510~600
31- 40	150	10	31- 40	4~5人	11.6%	610~700
41- 50	150	10	41- 50	5~6人	4.6%	710~800
51- 100	160	10	51- 100	6~7人・法人	4.6%	810~1300
101- 200	170	10	101- 200	法人	2.3%	1310~2300
201- 99,999	170	10	201- 99,999	法人	10.9%	2310~

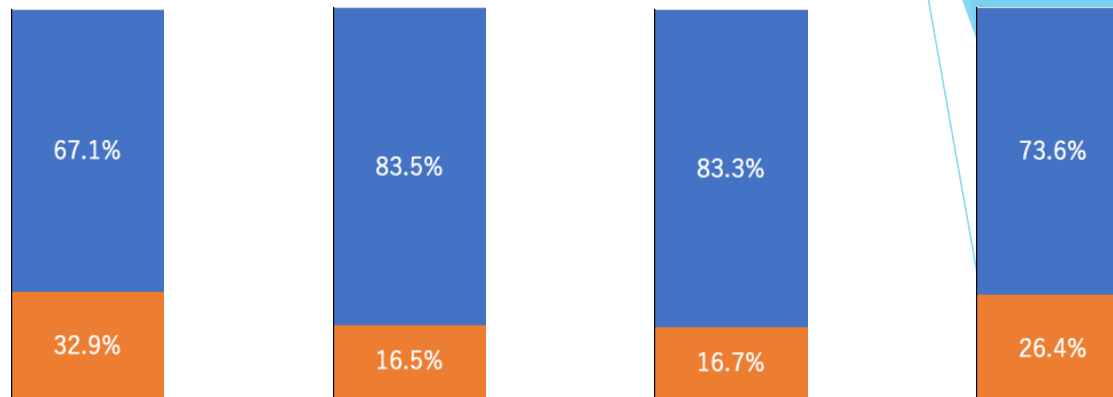
例：1か月の下水道使用料が3,900円だった方
 (旧使用料金帯で30m³利用)
 1か月の下水道使用料が4,500円

**全体の底上げに繋がる基本使用料の改定を行い、
 他の料金帯を均等に引き上げます**

下水道使用料の改定検証結果① 使用料配分



パターン①・④の場合、基本使用料の割合が増加し、マニュアルで示す数値に近づく。
パターン②・③の場合、現行よりも従量使用料で賄う割合が増加する。



水量区分 (m³)	現行 (円)	①		②		③		④	
		基本使用料UP (円)		従量使用料UP (円)		従量使用料UP (円)		基本+従量UP (円)	
		基本使用料のみ		基本使用料代替案A		基本使用料代替案B		一律 10円	
		値上げ幅	改定後使用料	値上げ幅	改定後使用料	値上げ幅	改定後使用料	値上げ幅	改定後使用料
0- 0	500	500	1,000		500		500	300	800
1- 10	70		70	40	110	30	100	10	80
11- 20	130		130	10	140	20	150	10	140
21- 30	140		140	20	160	20	160	10	150
31- 40	150		150	20	170	20	170	10	160
41- 50	150		150	20	170	20	170	10	160
51- 100	160		160	20	180	20	180	10	170
101- 200	170		170	20	190	20	190	10	180
201- 99,999	170		170	20	190	20	190	10	180
20m³使用時	2,500	3,000		3,000		3,000		3,000	

下水道使用料の改定検証結果② 収支・経費回収率

基礎情報（料金）・予測				R8	R9	R10	R11	R12	
パターン①	基本使用料UP（円）	使用料	事業	使用料単価（円）	163.0	R12年度時点			
0- 0	500	1,000	合算	使用料試算（万円）	52,920	55,777	56,484	59,105	61,215
1- 10		70		使用料不足額（万円）	12,816	10,396	9,449	8,353	7,225
11- 20		130		経費回収率（%）	80.5%	84.3%	85.7%	87.6%	89.4%
21- 30		140	公共	使用料試算（万円）	46,383	49,272	50,004	52,640	54,781
31- 40		150		使用料不足額（万円）	2,829	3,528	2,258	965	111
41- 50		150		経費回収率（%）	94.3%	93.3%	95.7%	98.2%	99.8%
51- 100		160	農集	使用料試算（万円）	6,537	6,505	6,480	6,464	6,433
101- 200		170		使用料不足額（万円）	9,988	6,868	7,192	7,388	7,114
201- 99,999		170		経費回収率（%）	39.6%	48.6%	47.4%	46.7%	47.5%
パターン②	基本使用料代替案A	使用料	事業	使用料単価（円）	166.1	R12年度時点			
0- 0		500	合算	使用料試算（万円）	53,173	56,353	57,124	60,047	62,395
1- 10	40	110		使用料不足額（万円）	12,563	9,820	8,809	7,411	6,045
11- 20	10	140		経費回収率（%）	80.9%	85.2%	86.6%	89.0%	91.2%
21- 30	20	160	公共	使用料試算（万円）	46,646	49,857	50,652	53,591	55,971
31- 40	20	170		使用料不足額（万円）	2,566	2,943	1,609	14	-1,078
41- 50	20	170		経費回収率（%）	94.8%	94.4%	96.9%	100.0%	102.0%
51- 100	20	180	農集	使用料試算（万円）	6,528	6,496	6,471	6,455	6,424
101- 200	20	190		使用料不足額（万円）	9,997	6,877	7,201	7,397	7,123
201- 99,999	20	190		経費回収率（%）	39.5%	48.6%	47.3%	46.6%	47.4%
パターン③	基本使用料代替案B	使用料	事業	使用料単価（円）	164.6	R12年度時点			
0- 0		500	合算	使用料試算（万円）	52,615	55,794	56,562	59,485	61,832
1- 10	30	100		使用料不足額（万円）	13,121	10,380	9,371	7,973	6,607
11- 20	20	150		経費回収率（%）	80.0%	84.3%	85.8%	88.2%	90.3%
21- 30	20	160	公共	使用料試算（万円）	46,160	49,370	50,163	53,101	55,480
31- 40	20	170		使用料不足額（万円）	3,052	3,430	2,098	504	-587
41- 50	20	170		経費回収率（%）	93.8%	93.5%	96.0%	99.1%	101.1%
51- 100	20	180	農集	使用料試算（万円）	6,455	6,424	6,399	6,384	6,353
101- 200	20	190		使用料不足額（万円）	10,069	6,950	7,273	7,469	7,195
201- 99,999	20	190		経費回収率（%）	39.1%	48.0%	46.8%	46.1%	46.9%
パターン④	基本+従量（円）	使用料	事業	使用料単価（円）	164.1	R12年度時点			
0- 0	300	800	合算	使用料試算（万円）	52,881	55,899	56,637	59,409	61,638
1- 10	10	80		使用料不足額（万円）	12,855	10,274	9,296	8,049	6,802
11- 20	10	140		経費回収率（%）	80.4%	84.5%	85.9%	88.1%	90.1%
21- 30	10	150	公共	使用料試算（万円）	46,370	49,420	50,183	52,970	55,230
31- 40	10	160		使用料不足額（万円）	2,842	3,380	2,078	635	-338
41- 50	10	160		経費回収率（%）	94.2%	93.6%	96.0%	98.8%	100.6%
51- 100	10	170	農集	使用料試算（万円）	6,511	6,479	6,454	6,439	6,407
101- 200	10	180		使用料不足額（万円）	10,014	6,894	7,218	7,414	7,140
201- 99,999	10	180		経費回収率（%）	39.4%	48.4%	47.2%	46.5%	47.3%

＜公共下水道＞
パターン①を除いて、
いずれも令和12年度
には、使用料不足が
解消するよ！



いくつかの使用料改定パターンを想定した結果

下水道使用料の設定に際して、本来の使用料体系の在り方や現状、また、今後の福岡工業団地における企業の操業等を加味し、多角的に検討を進めてきました。

これらを踏まえて「**パターン④**」の改定を、事務局から提案いたします。

公共下水道の経費回収率が令和12年度に100%となることで目標を達成し、かつ、**各従量使用料への加算が均等**であること。

また、**基本使用料の割合が本来の形に近づいたこと**、そして、**使用者全体で負担を按分すること**を是とし、上記を提案いたします。

水量区分 (m³)	現行 (円)	基本+従量UP (円)	
		一律 10円	
		値上げ幅	改定後使用料
0- 0	500	300	800
1- 10	70	10	80
11- 20	130	10	140
21- 30	140	10	150
31- 40	150	10	160
41- 50	150	10	160
51- 100	160	10	170
101- 200	170	10	180
201- 99,999	170	10	180
臨時用/m³	170	130	300

5. 審議会スケジュール

審議会スケジュール

つくばみらい市 審議会開催日・審議内容		
回数	開催日	審議内容
第1回審議会	令和5年12月6日	諮問
第2回審議会	令和6年2月27日	本市下水道事業の現状 経営比較分析表を基にした近隣団体の状況説明 下水道使用料改定の背景
第3回審議会	令和6年5月29日	経営戦略による今後10年間の見通し 経営戦略を基にした使用料改定案
第4回審議会	令和6年7月24日	会計の全体像 具体的な改定に必要な情報と検討案のご提示
第5回審議会	令和6年9月24日	ボリュームゾーン及び、複数パターンのご提示 改定パターンの決定
第6回審議会	令和6年10月23日	答申案の明示